

3月27日

テーマ：「主のあわれみを待ち望む」

聖書箇所：ユダの手紙20節～21節

◆今日のみことば

しかし、愛する人々よ。あなたがたは、自分の持っている最も聖い信仰の上に自分自身を築き上げ、聖霊によって祈り、神の愛のうちに自分自身を保ち、永遠のいのちに至らせる、私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。ユダの手紙20、21節

◆メッセージ

バスや電車などの乗り物を待ったことがありますか。まず、停留所や駅で待たなければなりません。また、行先や時刻を知って待つことでしょう。バスや電車の会社が決めた時刻表を信じて待ち、さらには運転手さんを信頼しなければバスや電車に乗ることはできません。「もし、バスや電車が時間通りに来なかったり、来る途中で事故があったり、行先がとつぜん変更になったりすることがあったら、と心配し始めたら、安心して待つことができません。しかし、その日の行先を楽しみにして待つと、待つことも楽しみにになりますね。



主を待ち望むとはどうすることでしょう。それは主に期待することです。主がどんな方であるかを知り、信頼することで、私たちは期待して待ち望むことができます。主は、あわれみ深いお方です。この主のあわれみを待つことができます。このように主を信頼することができなければ、主を待ち望むことは難しくなります。だから、信仰が重要です。イエスさまは私たちの罪をゆるし、私たちを天国に入れてくださるために、十字架にかかれた方です。そうして私たちへの神さまのあわれみを示されました。神さまの約束を守り、果たされた方です。このイエスさまの姿を通して、私たちは主を信頼することができます。

それでも、心配になったり、くじけそうになったりしたら、どうしたらよいでしょうか。聖霊なる神さまが、祈りを励ましてくださいます。そして、神さまの愛にとどまり続けることです。イエスさまが私の身代わりに死んでくださった愛を思い起こすことです。主を待ち望む間にはいろいろなことがあります。しかし、いつも神さまの愛に私たちがとどまることで、主を待ち望むことができます。祈りのうちに、神さまの愛を思いめぐらし、祈り、礼拝をささげながら主を待ち望みましょう。

◆お祈り

「主がどんなお方であるかを知ることができますように。主を信頼します。神さまの愛の中にとどまり、主を待ち望むことができますように」

(愛のキリスト教会伝道師 小野寛)